

ゆぎょうじ 遊行寺だより

ホームページでも
配信しています

新年を迎えた先月、御本尊様が大修復のため遊行寺を発たれました。
御本尊様がおられない本堂は、心寂しく、堂内の広さをより感じさせます。
造立当初の御姿になってお戻りになるまで、約2年半、しっかりと総本山を守る事が我々に
唯一できることです。今後とも総本山の護持にご助力を賜りますようお願い申し上げます。

◆ 今月の行事予定

- ・**節分追儺式**【3日(水)午後1時半・3時】
豆まきには、各種景品が当たる券が入っております。
- ・**涅槃会**【15日(月)午前6時 朝勤行後】
涅槃図の本堂安置期間は
8日(月)～15日(月)午後3時頃までです。
- ・**月例法話会**【23日(火)午後2時より】
信徒会館にて行い、参加は自由です。
当月講師:時宗布教伝道研究所
神奈川県横浜市 浄光寺 三浦公正師

～ 涅槃図ちよこつと解説 ～

- ① **マヤ夫人(まやぶにん)**
お釈迦様のお母様で、お釈迦様の死に際し天より駆けつけられます。
- ② **沙羅の木(さらのき)**
4本が繁り、4本が枯れているのはお釈迦様の肉体は消えても、教えは消えないことを表します。
- ③ **お釈迦様**
頭が北、顔は西向きです。現在亡くなれた方を北枕にするのは、せめて最後は同じお姿でという意味合いです。
- ④ **地藏菩薩様**
弥勒菩薩様がこの世に下りてこられるまでの間、現世の人々を救済することをお釈迦様より依頼されます。
- ⑤ **お弟子様たち**
卒倒する阿難尊者、それを介抱する阿泥樓駄尊者等がおられます。
- ⑥ **聖獣・動物**
多くの動物が嘆く姿は仏教独特で、仏教の平和性が表れています。

◆ 今月の催事予定

- ・**骨董市** 【3、7、21日】
毎月第1日曜日…蚤の市
〈お問合わせ TEL:090-4416-2168(石田)〉
- 毎月第3日曜日…ボロ市
〈お問合わせ TEL:090-2660-6935(中島)〉
* 午前7時より午後4時まで(雨天中止)



「釈迦涅槃図 | 清浄光寺(遊行寺)蔵」

* 遊行寺宝物館

特別展『遊行寺の至宝』[15日まで]
・開館日:毎週月・土・日曜日・祝日
・入館料:500円(小・中学生300円)

法に依よって人に依よらず

今月15日は、お釈迦様の遺徳を偲ぶ「涅槃会」を厳修いたします。
この日は、今から約2500年前に、お釈迦様が涅槃に入られた日です。
涅槃に入るとは「死ぬ」ことではなく、肉体を脱ぎ捨て「完全なる悟りの世界へ入る」ことを意味します。

また、入滅される前にお釈迦様は弟子たちに一つの教えを説かれました。
それが「自灯明・法灯明」の教えです。
「私が死んだ後、修行する者は、私の教えた真理を灯明として、また自分自身を灯明として仏道を歩みなさい。」
灯明は、暗闇を照らす仏様の慈悲と智慧を表し、「拠り所」とも言えます。

自灯明に関しては、お釈迦様は決して“自分の好きに生きなさい”、“自分の力を信じて生きなさい”とおっしゃっているわけではありません。
「自分自身の中にある仏性(仏としての本性)を観察・認識し、仏の教えを拠り所にして生きなさい」とおっしゃっているのです。

話は少し変わりますが、「今月のおことば」のこの一節。
ある時、一遍上人は旅で出会った武士をたいそう褒められたことがありました。それは武士が一遍上人のことを「日本一のまやかし者で偉そうだ」と推し測りながらも、宴会のさなか、服装を正し、手と口を清め、静かに念仏札を受け取ったからです。御札を受けとった理由を客人に聞かれたこの武士は「念仏にはまやかしが無いからだ」と答えたそうです。一遍上人は「『人を見るのではなく、仏の教えを拠り所になさい』という法灯明の教えにかなっている」と深く感心されました。

さて、頭ではわかっていながらも、なかなか実践できないこのお教えを、改めて涅槃会の日に思い起こしてみたいはいかがでしょうか。

合掌

フェイスブックでも遊行寺の様子や情報を配信しています。
イイネ!していただくと、随時記事をお読みいただけます。



時宗総本山
遊行寺

〒251-0001 神奈川県藤沢市西富1-8-1
TEL:0466(22)2063 FAX:0466(23)8243
ホームページ: http://www.jishu.or.jp

宗祖の

今月のおことば

此俗は依法不依人のことわりをしりて、
涅槃の禁戒に相かなへり。珍しき事なり。
(『一遍聖絵』第四卷)

～ 一遍上人のおこころ～

(ある武士が、一遍上人を誑惑の者と見しながらも念仏札を受けたことに対して)
この武士は「法に依って人に依らず」というお釈迦様が涅槃に入られる前に弟子たちに説いた戒めにならなっている。感心なことである。